

令和5年度第1回男女共同参画審議会 議事録

開催日時	令和5年7月28日（金）10時～12時
開催場所	半田市役所 会議室305
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 委嘱状交付 3. 会長及び副会長の選任 4. 男女共同参画審議会について 5. 議題 (1) 令和4年度 みんなが輝くチャレンジプランの評価について 6. その他
出席者	<p>会 長：松井真一</p> <p>委 員：板倉恵美、岩波房子、中野直哉、高下隆史、榊原衣麻、石川結子、大坪成生、 荒川裕子 ※敬称略</p> <p>事務局：市民協働課長 藤井寿芳、柳田愛日、福山ひとみ</p>
議事録	
<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 委嘱状交付 机上配布にて交付に代えさせていただく。 3. 会長及び副会長の選任 板倉委員が松井委員を会長に推薦し、委員全員が拍手にて承認。 松井会長が板倉委員を副会長に推薦し、委員全員が拍手にて承認。 会長、副会長、就任あいさつの後、委員全員の自己紹介。 4. 男女共同参画審議会について 事務局より資料説明。 5. 議題 (1) 令和4年度 みんなが輝くチャレンジプランの評価について 事務局より説明。 	
委員	評価について、今回は基本施策の8つの項目についての評価をすることで良いか。この内容に関して評価をするためには、事業毎に見た方が理解しやすく、評価もしやすいのではないか。
事務局	評価の仕方について、各事業も当然資料は出しているため、目標は基本施策単位で、評価としては、1つずつの事業についてではなく包括的に評価をしていただきたい。評価方法に関しては、昨年度の審議会の中で議論し、決定したことになるので、今回評価方法を変えることはない。評価をしていく中で、変えた方が良いという意見を持った場合は、評価後に提案として出していれば今後変えていくことは可能である。

委員	評価をするにあたって、年度計画があった上で達成度、次年度の年度計画を見る、というしくみになると思うが、昨年度の年度計画や流れの確認ができないと評価ができない。
事務局	計画は全体計画であり、こちらの計画に基づいて各所管課がそれぞれの事業を展開している。どのような事業から行うか等の年度計画はない。その結果を個別事業毎に実績ベースで示している。
委員	全体計画に基づいて該当年度はどの程度進んでいるか、という観点での評価で良いか。全体計画のゴールを見据えた評価で良いか。
事務局	実際数値データを毎年取るわけではないため、評価が難しいところも出てくると思う。今回、初めての評価方法であり、男女共同参画自体が意識の問題でもあるため、どのような視点での評価をするか難しいと思う。意見を取り入れつつ今後変えていきたい。
令和4年度の評価表について事務局より説明。	
委員	審議会評価としてA～Dで個々が評価すると思うが、意見が分かれた際は多数決、もしくは対話にて決定するのか。
事務局	まとめ方は決まっていないが、他の計画での評価方法も参考に、合議制を取っていきたいと考えている。意見が違う場合は議論をして決定してもらいたい。最終的には会長判断にはなると思う。
委員	A～D判定をする場合、例として評価毎にポイントを付けて合計点で決定するという方法はどうか。
事務局	評価方法に関しては、来年度以降の意見にさせていただきたい。 今回の審議を行った上で数値化した方が分かりやすいという判断になれば、取り入れる可能性もある。
委員	庁内でのA～Dの自己評価は次回提示されるのか。
事務局	A～Dの自己評価は実施しない。庁内評価としては本日出ているもので全てであり、実績ベースでの成果と課題を示している。審議会の中で市民の感覚で意見をいただきたい。
委員	自己点検評価を付けるという方法もあると思うが、庁内での評価を受けない状態で審議会での評価を付けるということか。
事務局	複数課をまたがる事業の評価も多いため、庁内評価をしづらいという問題もある。今年度については自己評価は実施しないが次年度に向けた課題としたい。
委員	市民協働課は担当課であり、男女共同参画を理解をしていると思うが、他課ではまだ人権尊重が主であり、男女共同参画での評価が難しいと感じた。
委員	具体的事業の一つ一つを自己点検評価してもらった上で、審議会ですべてを評価する、という折衷案はどうか。庁内情報が少ない状態で、内容を精査し、理解して評価していくのは極めて大変な作業ではないか。疑問点や資料要求したいものが多い。
委員	結果が何も出ていない。プランに沿ってイベントや講座を実施したか否かという評価だけになってしまっているのではないか。
会長	各課の取組みについて以前は各課が自己評価をしていたが、そもそもの目標値が低かった。目標

	<p>を達成はしているが、先を見据えると十分ではないのではないか、という意見が審議会の中で挙がったことが評価を変えることや、自己評価の必要性を考える発端だったと記憶している。その中で各取組の自己評価がなくなったことや、当初の目標が分かりづらくなっている点においては、改善の余地はあると思うが、今年度に関しては昨年度の議論で決定した方法でもあるため、実際に評価をしてみるということも必要ではないか。前回までの評価に関わっている委員もいるため、前回までの評価と比較をしながらも新しいものを作っていければ良いのではないか。この場で資料や情報等必要なものがあるようであれば意見をいただきたい。</p>
委員	<p>意見を出すにも内容を読み込む期間が必要。次回の審議会の前までに、考えた意見を出し合い、全体でどのような意見があるかを確認したい。</p>
会長	<p>事務局は、1～2週間の期間を設け、本日の審議の中で出せなかった意見を集約することは可能か。</p>
事務局	<p>本日の資料の中に、審議会意見書を付けているので、1週間という期間設定になっているが、そちらに意見を書いていただき、取りまとめをする予定。評価の内容ではなく、評価表に関する意見を出していただければ、取りまとめをし、早い段階で担当課からの回答を用意し、委員の方に伝えた上で、次回を迎えたい。</p>
委員	<p>評価をするためには、内容を明らかにしなければ意見も出ない。担当課によって書き方が違うことが気になる。イベントの実施日や参加者、意識の変化等エビデンスが必要。しかし講座を行った、という記載のみで内容については触れられていないが、庁内全体評価では改善が見られた、との記載が多々ある。庁内全体評価を基に評価するためには具体的内容かつエビデンスを示してもらいたい。こちらは早急に修正をお願いしたい。</p>
事務局	<p>担当課による意識の違いや意図が伝わっていない、と感じられるところもあると思うが、こちらが半田市の現状だと捉えてもらいたい。市民協働課は担当課のため、模範になれるよう記載についても意識を持っているが、課によって意識の差がある部分もある。評価の仕方に関する意見は真摯に受けとめ、全体的に数字的なことやエビデンスは次回に間に合うよう担当課に記載を依頼する。</p>
委員	<p>庁内の内容について評価するのであれば、担当課の方にも審議会に出席してもらいたい。担当としてお互いに意見を言い合うことをしないことが、結果に差が出ている要因ではないか。</p>
委員	<p>担当者が説明をし、意見を出すことは理に適っている。しかし、審議会の委員の立場としては、庁内全体評価の中身を理解するために説明をしてもらえることは助かるが、事務局としては膨大なエネルギーが必要になるため、そこまでの要求はしない。ただ、担当者の回答は必須。</p>
会長	<p>前回までは追加説明が必要な場合、事務局を通じて依頼し、次回までに回答を用意しておく流れがあったが、補足説明に関しては今年度どのように考えているか。</p>
事務局	<p>追加説明が必要な場合には、意見書に記載していただきたい。全て意見書に記載いただければ、事前に返す予定である。</p>
委員	<p>自分自身、事業者の立場として、ワークライフバランスには気を付けている。職員向けの働き方</p>

	改革はあるが、市内一般企業に勤めている方の方が多いため、市役所が模範となれば良いとは思いますが、今後は企業の実際の状況も評価の対象に入れ、働きやすい環境づくりにも目を向けてもらいたい。
事務局	事業者に対しては啓発にとどまっているのが現状であり、積極的な展開ができていないため、評価をしていただいて、今後産業課も含めて施策として動いていければと思う。
委員	次回はその場で始めて意見のすり合わせをするのか、事前に各委員の意見一覧が用意されている状態で議論を進めるのか。4時間で終わらせるためには意見一覧がなければ時間が足りないのではないか。
事務局	補足を含め資料は提示してある状態になるので、順に評価をしていただく、という予定でしたが、委員の意見が必要だということであれば事前に意見の集約をする。
会長	前回までの評価方法では、事前にデータで意見を出していた。時間の都合上、事前に意見一覧があった方が良いのではないか。
事務局	スケジュールを若干組み直すが、評価シートを作成し、事前に意見を提出していただき、集約して当日までには用意する。
委員	本日傍聴があるが、審議会があることは公開されているか。
事務局	していないが、必要があれば今後は公開していく。
委員	公開されることによって委員の意見が公になってしまう可能性もあるのではないか。
事務局	次回以降、評価に関わること、評価に影響を及ぼす恐れがあるということも考えられるため、傍聴は非公開にするという判断も必要かと思う。
委員	議事録として公開する場合は委員の情報は出るのか。
事務局	情報として公開する際は、誰がどんな発言をしたかという、個人の特定はできないよう配慮する。しかし審議会を公開する場合は伏せることができないため、あまり好ましくないのではないか、と考えている。
委員	見識の違う意見が出るため、公開することにより自由闊達な議論のさまたげになる可能性がある。意見が制約される状況になってはいけないため非公開の方が良いのではないか。
会長	知人や関係者が傍聴に来る可能性も考えられる。そのため次回は評価に関わるので、非公開とする。
以上	